

事務事業評価表（建設事業等）

評価対象年度	平成 29 年度
1次評価日（主幹等）	30年3月31日
2次評価日（課長等）	30年3月31日

1 事業名	湖周地区ごみ処理施設整備事業		コード	81201
2 担当部課	部等 市民環境部	課等 市民環境課	作成者	黒渕 浩人
3 事業概要	目的体系	基本目標	自然環境と暮らしが調和した、安全・安心なまち	
		政策	循環型社会の構築	施策 廃棄物対策の推進
		予算科目	湖周地区ごみ処理施設費	業務委託 なし（直営）
		実施義務	なし（選択的事業）	国県補助 あり

●事業の実施内容（D0）

4 事業の概要等

*対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）

事業の概要 （簡潔に）	湖周地区（岡谷市、諏訪市、下諏訪町）から排出される一般廃棄物を、広域的に共同で処理を行う。
目的	対象者 湖周地区（岡谷市、諏訪市、下諏訪町）の住民。
	意図 環境負荷の低減と循環型社会の構築を目指す。

5 事業の必要性

*事業を計画した当時、この事業が必要になった状況・理由

老朽化した現施設の更新の必要性とともに、大量廃棄型の社会から3Rを推進し、循環型社会の構築に向けて、ごみを適正に処理することが必要になり、住民、事業者、行政が連携して広域的に取り組むことが求められた。

6 事業の全体計画

*各年度の取組計画

予定全体事業費	2,246,239,000	円	事業期間	H23年度～H33年度
27年度まで	中間処理施設建設工事を着工。岡谷市発生ごみの共同処理事業を継続。			
28年度	中間処理施設建設工事及び機器据付け、7月から試験運転を開始し、12月から本格稼動となった。岡谷市発生ごみの共同処理事業を継続し、最終処分場については建設地を決定した。			
29年度	最終処分場建設に向け、下流域の辰野町と十分な話し合いの機会を設け、理解を深めていただくなかで、環境影響調査等の事前調査への着手も検討する。			
30年度以降	最終処分場建設にあたり、事前調査を含む事業推進に向けて、反対同盟会・辰野町との懇談会、対話を重ね、理解が深まるよう粘り強い対応を図る。			

7 事業の実施内容

*各年度の進捗状況

27年度まで	中間処理施設建設工事、機器据付を実施。共同処理事業を継続して実施するなかで、繁忙期への対応として諏訪南清掃センターへの搬入を開始。仮設ごみ預かり所を継続して運営。
28年度	中間処理施設建設工事、機器据付を完了。7月からの試運転を経て、12月から本格稼動となった。8月末までは共同処理事業を実施し、11月末まで仮設ごみ預かり所を運営した。12月以降は市民が草・剪定枝等を無料で持ち込むことができる資源物等預かり所を新たに設置した。
29年度	<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年4月からの2市1町の統一に向けた取り組みのひとつとして、条例改正を実施した。 ①ごみの名称変更「燃えるごみ」⇒「燃やすごみ」、「燃えないごみ」⇒「埋立ごみ」 ②祝日収集の実施 ③手数料徴収方法の変更（持込手数料を組合で徴収） <ul style="list-style-type: none"> ・新施設稼動に伴うごみの持込みについてチラシ等を作成し、市民へ周知した。
前年度の課題への対応	辰野町に十分な話し合いの機会を設けてもらい、安全性など理解を深めていただく。

8 コストの推移

* この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）

[単位：円]

区分	27年度まで(累計)	28年度	29年度	30年度(予算)
① 直接事業費	748,209,146	89,972,733	78,088,792	191,429,000
経常経費	0	0	0	0
臨時的経費	748,209,146	89,972,733	78,088,792	191,429,000
* 臨時的経費の説明	* 負担金（運営費、事務費、建設費、基金、公債費、共同事業費）			
② 人件費		4,800,000	3,600,000	3,600,000
正規職員の人数（人）		0.60	0.45	0.45
③ 合計コスト（①+②）	748,209,146	94,772,733	81,688,792	195,029,000
前年度比			86.2%	238.7%
財源				
一般財源	505,179,764	27,028,453	46,183,452	151,711,000
内訳				
特定財源	243,029,382	67,744,280	35,505,340	43,318,000
* 特定財源の説明	* 廃棄物処理手数料			

●事業の評価（CHECK）

9 事業の進捗状況

区分	27年度まで(累計)	28年度	29年度	30年度(予算)
進捗率				
直接事業費の執行率	33.3%	37.3%	40.8%	
その他の進捗率				
* その他の進捗率の説明				

事業をとりまく環境変化	今まで	<p>（これまでに生じた政治・経済・文化などの状況変化のうち、この事業に影響があったこと）</p> <p>中間処理施設建設に伴う公共工事設計労務単価の上昇による請負金額の増額（インフレスライド条項の適用）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ H26.8請求額：2,769,120円 ・ H28.4請求額：4,796,200円
	今後	<p>（30年度以降に予測される政治・経済・文化などの状況変化のうち、この事業の進行・完了に影響すると思われること）</p> <p>最終処分場の建設の際にも、同様のケースが考えられる。</p>

●改善の内容（ACTION）

10 今後の課題と対応策

今後の課題	<p>（環境変化を考慮して事業を進めていく上で、30年度以降に課題になること）</p> <p>最終処分場の建設にあたり、下流域にあたる辰野町住民の理解を得ること。</p>
課題への対応策	<p>（上記の課題をふまえて30年度に実施する、具体的な対応方法）</p> <p>辰野町に十分な話し合いの機会を設けてもらい、安全性など理解を深めていただく。</p>

●次年度の計画（PLAN）

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価による30年度の優先度 *H28年度施策評価表より転記すること	A
-----------	--------	---	---